

## 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群（myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome; ME/CFS）治療ガイドライン（案）に対する意見募集について

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業（障害者対策総合研究開発事業）「慢性疲労症候群に対する治療法の開発と治療ガイドラインの作成」研究班（代表研究者：倉恒弘彦）では、CFS治療ガイドライン作成委員会（委員長：遊道 和雄）を組織し、科学的根拠（evidence-based medicine: EBM）に基づいた公的な GRADE（The Grading of Recommendations Assessment, Development & Evaluation）システムによる「日本における筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群（myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome; ME/CFS）治療ガイドライン（案）」を作成致しました。

作成手順としては、i) 国内外の ME/CFS 治療法に関する文献を収集し、ii) 治療法タイプ別に分類した文献群を EBM に基づいて評価し、各治療法の推奨度、推奨のエビデンス、エビデンスの根拠となった引用文献を詳解、iii) 治療法文献の評価結果を基に ME/CFS 治療ガイドラインを作成しています。

広く、一般の皆様からのコメントを募集いたしますので、以下のメールアドレスまでご意見をお送り頂けると助かります。

### 概要

日本には公的な筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群（myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome; ME/CFS）の治療ガイドラインが未だ無いため、医療現場では担当医が各々手探りの状態で治療を行っている現状にあり、本疾患の治療成績向上のためには治療指針・ガイドラインの策定が喫緊の課題として認識されている。

かかる背景を基に、科学的根拠（evidence based medicine: EBM）に基づいた治療ガイドラインを作成することを目的として、以下の手順（1~3）で、国内外の ME/CFS の治療に関する文献を収集して治療法のタイプ別に分類し、これらを EBM の手法に基づいて GRADE（The Grading of Recommendations Assessment, Development & Evaluation）システムにより評価して治療ガイドラインを作成した。

1. 国内外の ME/CFS 治療法に関する文献収集
2. 治療法タイプ別に分類した文献群を EBM に基づいて評価
3. 各治療法の推奨度、推奨のエビデンスの詳解結果を基に ME/CFS 治療ガイドラインを作成

### 意見提出期間

平成 29 年(2017 年) 12 月 1 日(金曜日) ~ 平成 29 年(2017 年)12 月 30 日(土曜日)必着

### 意見提出方法 電子メールのみ

### 意見提出先 yudo@marianna-u.ac.jp

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業（障害者対策総合研究開発事業）「慢性疲労症候群に対する治療法の開発と治療ガイドラインの作成」研究班  
CFS 治療ガイドライン作成委員会 委員長 遊道和雄

※件名に「パブリックコメント」と記入してください。